

市役所におけるユニバーサルデザインの主な取組み

1 DX（デジタル化）の取組み

【ひとづくり】

(1) テレビ会議を用いた健康教室

コロナ禍で開催が難しくなった育児教室について、テレビ会議システムを用いて開催。感染症の感染を恐れずに参加できるようにしたことで、保護者の不安解消につながりました。

その他、各会議もオンライン化やオンラインとの併用を進め、交通手段や場所を気にせず参加できる機会を増やしています。



オンライン育児教室

(2) 市民のデジタル活用支援

デジタル機器をもっと活用したい市民を対象にしたDX人材育成講座や、社会のデジタル化により取り残されがちな世代を対象にしたスマートフォン教室の開催など、民間企業等と連携して実施していきます。（令和4年度当初予算案）

2 公共施設のユニバーサルデザイン化

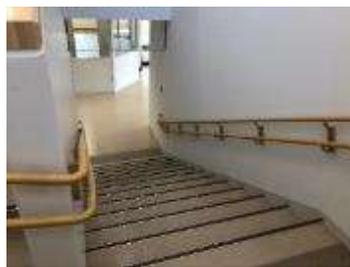
【まちづくり】

(1) 里山辺公民館（新築建物）

令和4年3月24日竣工予定の里山辺公民館では、基本指針に基づきユニバーサルデザインによる整備を進めています。



外観



身長差を配慮した手すり

ローカウンター中心の窓口
(椅子配置予定)

車いす対応の調理台（右手前）



男性トイレにもおむつ交換台を設置

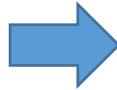
(2) 松本市美術館（観光・集客設備の改修）

市民や観光客など、外国人を含め多くの来場者を迎える松本市美術館は、トイレが和式であることが課題でした。

令和4年4月21日のリニューアルオープンに合わせ、トイレの改修を進め、洋式化やフィッティングボード（着替え台）設置を行いました。



和式トイレ



洋式トイレ



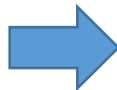
着替え台設置

(3) 市営住宅の改修

設備の老朽化が進む市営住宅を、子育て世代にも入居しやすくするリノベーション（改修）を進めています。若い世代が居住することで、高齢化が進む住宅地の地域づくりも期待されます。（令和4年度当初予算案）



家族の状況が見えづらい台所



リビングが見渡せる配置

4 行政文書のUDフォントへの統一

【ソフトづくり】

令和4年1月から、行政文書に使用する文字にUDフォントを用いることとしました。

	明朝体	ゴシック体
非UD文字	あいう／アイウ／123／松本 (MS明朝)	あいう／アイウ／123／松本 (MSゴシック)
UD文字	あいう／アイウ／123／松本 (BIZ UD明朝)	あいう／アイウ／123／松本 (BIZ UDゴシック)